

教科名		【教科:美術】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		開隆堂出版	光村図書出版
調査の観点			
A 内容 について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各題材の基礎的な知識・技能に関する資料ページはよく整理されている。</li> <li>テーマごとに作品の並べ方や写真の配置などに変化をもたせる工夫がされており、見やすい構成となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各題材の基礎的な知識・技能に関する資料ページはよく整理されており、特に制作過程を詳しく掲載するなど技能面の内容が充実している。</li> <li>3人のキャラクターを設定し、それぞれが疑問点やポイントなどを話すことで、生徒が感情を投影させながら、内容を理解できる工夫がされている。</li> </ul>
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きを使ったり、作品を原寸大で提示したりするなど、ページやテーマごとに視覚的に分かりやすい構成となっている。</li> <li>テーマごとに、その単元の目標例や学習のポイントなどがまとめられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の中の美術や美術文化に関わる内容が幅広く取り上げられて、美術を通して表現力を育てる視点が明確である。</li> <li>大きく掲載された図版についてはQRコードを使って鑑賞を深めることができ、作品の美しさ・楽しさが、表現にも鑑賞の授業にも効果的に活用できる。</li> <li>作品例の写真は、それぞれの良さや特徴が分かりやすく比較できるような工夫がされている。</li> <li>テーマによって紙の種類を変えたり、トレーシングペーパーを挟み込むなど、より作品の臨場感を伝える工夫がされている。</li> </ul>
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン・工芸の分野において、伝統的な作品と近代的な作品の資料がバランスよく選ばれている。</li> <li>鑑賞のページでは、若手の作家や新しい作品などが紹介され、写真なども見やすく構成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのテーマにふさわしい資料がバランスよく選ばれている。</li> <li>生徒にとって身近な美術書として各ページのレイアウトがされている。</li> <li>生徒たちが見たことのある作品や、興味を引きそうな題材や作品が多く掲載されている。</li> <li>QRコードで見ることができる内容について資料などが多岐にわたり、充実している。</li> </ul>
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境、伝統文化、平和、人権、ジェンダーなどSDGsに関連した資料提示や展開がされている。</li> <li>「デザインや工芸で学ぶこと」では、SDGsのポスターを紹介するページがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境、伝統文化、平和、人権、ジェンダーなどSDGsに関連した資料提示や展開がされている。</li> <li>日本文化に関わる作品が多く掲載されている。</li> </ul>
B 使用 上の 便宜 について	(1) 生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2・3学年の教科書が1冊にまとめられており、2年間を通した学習がイメージしやすくなっている。</li> <li>各単元の学習の3つの目標が、「知(知識や技能に関する目標)」「思(思考力・判断力・表現力に関する目標)」「学(学びに向かう力に関する目標)」に分かれ、理解しやすく明示されている。</li> <li>内容を絞り簡潔で分かりやすくまとめられている。</li> <li>ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用し、誰にでも読み取りやすい工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が表現を進める際の制作過程の事例が適所に掲載されている。</li> <li>題材ごとに、主になる作品とそれ以外の作品をバランス良く配置しており、学習を進めやすい。</li> <li>第2・3学年の教科書が1冊にまとめられており、2年間を通した学習がイメージしやすくなっている。サイズもA4版で扱いやすい。</li> <li>技法と作品例など、ページがはっきり分かれて掲載されている。</li> </ul>
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史のある街や建物をリノベーションして新しいものを創りあげるなど、多摩市のこれからの考えるきっかけになるページが盛り込まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水墨画やマンガやアニメなど、多摩市にある施設や企業など関係する題材の内容が充実している。</li> </ul>

教科名		【教科:美術】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		日本文教出版	
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真が多く、視覚的にテーマが伝わりやすい工夫がされている。</li> <li>・学習のテーマや目標などが、ページごとにまとめられている。</li> </ul>	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「構図に思いをのせて」「なんでこれが美術なの？」など、生徒の興味を引くようなテーマ設定となっている。</li> <li>・絵画やデザインといったテーマ分けではなく、様々なジャンルの作品が、テーマに沿って並べられているため、多様な視点から考えを深める工夫がされている。</li> </ul>	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの情報が1ページにまとまっているので、単元の内容にこだわらず、美術の学びがよりよい人生を送るためのヒントになる可能性がある。</li> <li>・掲載されている作品のいくつかにQRコードが付いており、作品を違う角度からも見られるようになっている。</li> </ul>	
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境、伝統文化、平和、人権、ジェンダーなどSDGsに関連した資料提示や展開がされている。特に環境問題についての記述に重きが置かれている。</li> <li>・デザインの1例として、SDGsのポスターが紹介されている。</li> </ul>	
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2・3学年は上下巻に分かれてまとめられており、発達段階に合わせた学びができる、充実したつくりとなっている。</li> <li>・知識や技法などはページの最後の方にまとめられており、作品例とは分けて掲載されている。</li> </ul>	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館やパブリックアート、自然、土器など、多摩市とゆかりがある題材が多く取り上げられている。</li> </ul>	